

文学

三鷹

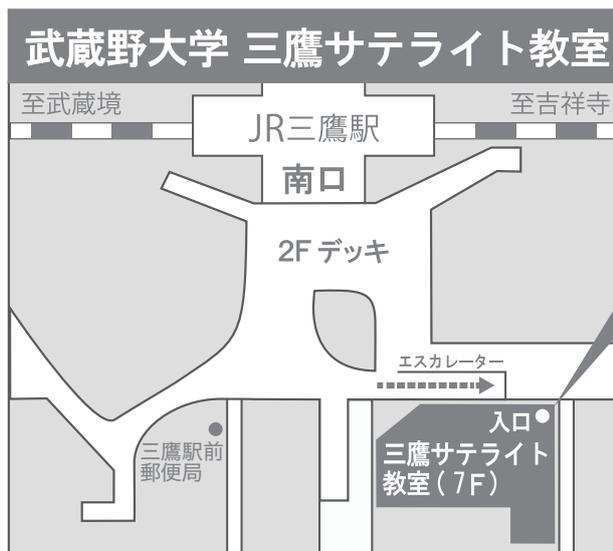
0401012

## 『源氏物語』を読む

— 幻巻(続き)・雲隠巻について —

受講料 (振込額)	12,000円				
必携テキスト	『新潮日本古典集成 源氏物語六 (新装版)』新潮社 2,640円				
講座概要	曜日	月曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全6回	定員		20名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学名誉教授 <b>松村 武夫</b> (まつむら たけお)				
	1940年生まれ。早稲田大学大学院修士課程修了。武蔵野女子大学短期大学部長、武蔵野大学文学部長、大学院研究科長をへて、現在、本学名誉教授。平安時代末期の文学(和歌文学、歴史物語など)を研究領域とし、主な著書に『校注水鏡』『水鏡全注釈』『実用国語辞典』等がある。				
内容	長らく中断していた「幻巻」の続きで、テキスト(『新潮日本古典集成 源氏物語六 (新装版)』139頁1行目からになります。 「幻巻」は、光源氏52歳の春から大晦日までの最後の一年を描いています。紫上を亡くし孤独となった光源氏は四季折々ごとに故人を追慕し愛惜の心を深めました。物語には、蛍の宮・匂宮・女三宮・明石上・花散里・夕霧・女房たちが登場し光源氏とともに個人(紫上)の思い出を重ねていきます。秋八月、紫上の一周忌には故人が作っておいた極楽の曼陀羅を供養しました。歳末近く、出家を前にした光源氏は紫上の文を焼き、御仏名(12/19～21)には盛大な仏名会を催し、法念に参集したたくさんの人々の前に昔の輝きの上に加わったこの世のものとは見えぬ美しい姿を見せました。これが光源氏の最後の姿でした。大晦日には次のような辞世の歌を詠みました。 もの思ふと過ぐる月日も知らぬまに年もわが世もけふやつきぬる				
	持ちもの:テキスト。 ① 4月18日:幻巻 ② 5月9日: " ③ 5月23日: " ④ 6月6日: " ⑤ 6月20日: " ⑥ 7月4日:雲隠巻				

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12  
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線  
東京メトロ東西線  
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・「受講の手引き」「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い」を必ずお読みの上、ご参加ください。